

第14回 グリーンパークトライアスロン in 加西 2026

第38回兵庫県トライアスロン選手権
2026トライアスロンエイジグループ
ナショナルチャンピオンシップシリーズ
近畿ブロックチャンピオンシップシリーズ(最終戦)

アスリートガイド

<最終要項>

2026年9月27日(日)



もっと先へ、その先のスタートラインへ

GREEN PARK TRIATHLON

グリーンパークトライアスロン in 加西

AGE GROUP NATIONAL CHAMPIONSHIP SERIES



気球の飛ぶまち、加西へようこそ
のどかな加西でトライアスロンを楽しみましょう！

第14回 グリーンパークトライアスロン in 加西大会に参加する選手はアスリートガイドをよく読み、WEBテストに合格してください。パラトライアスロンの選手の説明も掲載してあります。
スタートの時間、トランジションの出入の方法がエイジとパラで違います。間違えないよう注意してください。
エイジとパラの選手が交差する場合パラ選手を最優先とさせていただきます。
(互いに妨げにならないよう思いやりをもって競技をすすめましょう)

観戦等について

- 選手以外はスイム招集エリア、トランジション、コース内は立ち入り禁止です。(公民館多目的ホール・芝生広場は選手以外もお入りいただけます)
- 同伴フィニッシュを許可します。ただし1選手につき家族・友人2～3名まで、横断幕やのぼりなどは禁止します。待機エリアでスタッフの指示に従ってください。
- 今大会では定点カメラによるライブ中継を行っております。撮影にご協力いただきますようお願いいたします。

大会当日までの流れ

9/16(水)～9/26(土)

アスリートガイドを熟読、WEBテストに合格

9/26(土)前日受付

9/27(日)当日受付

オンライン競技説明受講終了後WEBテスト合格すると
受付用QRコードが発行されます

大会受付でQRコード提示、リストバンド装着

QRコード提示の際、**写真付き身分証明を提示**ください

**※本人確認を確実にを行うため写真付き身分証明が
必要です 運転免許証、マイナンバーカード、等**

QRCheck-in 画面イメージ



9/29(日)大会当日

当日朝の健康状態を記入した「健康チェックシート」を受付に提出

リストバンドをトランジションの入退場、貴重品預かりの本人確認に利用します

— 参加における注意事項、お願い —

安全・安心で住民にも愛される大会を、皆さんとともに創りあげましょう！

完走するという意思よりも **レースを棄権する意思・勇気**

十分なウォーミングアップで、急激に心拍数が増加しないようにしましょう

- ・ 陸上でのランニング等、ウォーミングアップ時に一度心拍数を上げておくこと。
- ・ 大会当日に試泳タイムがあります（任意）
- ・ トライアスロン用のウェットスーツの着用を推奨します。
海水に比べ、淡水は浮力が少ないです。
気温・水温が高い場合、水中でも熱中症リスクがあります。積極的にウェットスーツ内に水を入れるなどしてください。

バイク競技中(乗車)はもちろん、移動時もヘルメット着用が義務です

- ・ 未着用の場合は、失格となります。十分ご注意ください
- ・ ☆レースナンバーの取り付けに、安全ピンは使用禁止です。
- ・ 裸足で走る環境があるため、ナンバーベルト等での取り付けをしてください。忘れず持ってきてください。（ブースでの販売もありますが、数に限りがあります。）

当日の早朝は暗いため、十分ご注意ください

- ・ 当日の日の出は5時50分です。移動時は大変暗いので、自転車移動の場合は照明を必ず装着し、反射する素材などを身に付けるなど、十分注意してください。
- ・ ☆バイク移動時の交通ルール、マナーを守りましょう。
- ・ バイク移動時は、信号等のルール厳守はもちろん、坂道での蛇行登坂などはしないでください。
また、早朝時は、大声などで住民の皆様にご迷惑にならないよう、お願いいたします。

顔写真付きの身分証明書をご持参ください

- ・ 代走（替え玉出場）は、万一の場合に対応ができず、命に関わる重大なルール違反です。以後の大会出場をお断りすることがあります。

【競技規則】

(公社)トライアスロンジャパン(TRIJ)競技規則を基本とし、大会ローカルルールを制定して実施します。ルールを理解して競技に参加して下さい。

競技規則に違反した場合は、指導、タイムペナルティ又は失格の対象になります。

「トライアスロンジャパン競技規則改訂(2026年度版)」<https://www.jtu.or.jp/news/2026/02/20/80924/>

【競技の中止・棄権】

- 大会スタッフは、選手が過度の疲労、競技力不足又は事故等により競技の続行に支障があると判断したときは、選手に対し、競技の中止を指示することができます。
- 大会スタッフに競技の中止を指示されたときは、これに従わなければなりません。
- 選手は、競技途中でリタイアする場合は、審判員(TO・審判員オフィシャルウェア着用)まで届け出てアンクルバンドを返却してください。アンクルバンドを持ったまま競技コース内の通行や、計測テント付近に近寄らない様にしてください。審判員以外のスタッフや職員に返却した場合、選手としての所在がわからず、捜索することになります。次年以降の出場をお断りすることがあります。
- リタイアした選手は公民館及び芝生広場に戻ってください。ただし、コースに立ち入ることはできません。

【招集、制限時間】

- 1) 招集時刻に間に合うようにスイム招集エリアにご集合下さい。
- 2) 以下の通り、制限時間を設けます。(スイムスタートからの積算時間)

エイジ

一般・リレー	種目	距離	制限時間 (累計)
	スイム	1.5 km	50 分
	バイク	40 km	3 時間
	ラン	10 km	4 時間

パラ

パラ	種目	距離	制限時間 (累計)
PTS・PTVI	スイム	0.75 km	40分
	バイク	20 km	1時間45分
	ラン	5 km	2時間40分
PTWC	スイム	0.75 km	40分
	バイク	20 km	1時間45分
	ラン	5 km	2時間10分

スイム安全上の措置

一般・リレー選手は1周目を最終選手のスタートから**25分以上**かかっている選手および、最終選手のスタートから**50分後**に水中にいる選手は競技を中止していただきます。これはチップ計測による制限時間とは別の安全上の措置です。審判員・ライフセーバーの指示に従ってください。

スイム安全上の措置

パラ選手は1周目を最終選手のスタートから**30分以上**かかっている選手は競技を中止していただきます。これはチップ計測による制限時間とは別の安全上の措置です。審判員・ライフセーバーの指示に従ってください。

※スイム制限時間はスイムアップポイントで計測します。

※各制限時間はスタート計測マットを通過した時刻からになります。

【大会スケジュール】

時 間	種別	内 容	場 所	備 考
05:00	全	選手用駐車場開場	ぜんぼうグリーンパーク	パラ選手:善防中
05:30	全	大会開催可否発表	本部	
06:00	全	コース下見(～7:00)	大会会場	要ヘルメット着用
06:30	全	選手受付・アンクルバンド配布(～7:30)	善防中グラウンド	
06:30	A・R	トランジション入場(～7:45)	善防中グラウンド	
07:50 ～08:20	A・R	・スイムウォーミングアップ(～8:10) ・スイム招集エリア集合(8:10～8:20)	皿池横 スイム招集エリア	
08:00	P	トランジション入場(～8:45)	善防中	
08:25	全	スタートセレモニー	皿池	
08:30	全	交通規制開始	大会会場	
08:40	A・R	競技スタート	皿池	ローリングスタート
09:00	P	PTS/PTVI スイム招集	皿池	
09:30	P	PTS/PTVI 競技スタート	皿池	フローティングスタート
09:30	A・R	スイム制限時間	皿池	
09:40	P	PTWC スイム招集	皿池	
10:10	P	PTS/PTVI スイム制限時間	皿池	
10:10	P	PTWC 競技スタート	皿池	フローティングスタート
10:50	P	PTWC スイム制限時間	皿池	
11:15	P	PTS/PTVI バイク制限時間	善防中計測地点	
11:40	A・R	バイク制限時間	善防中計測地点	
11:55	P	PTWC バイク制限時間	善防中計測地点	
12:10	P	PTS/PTVI ラン制限時間	大会会場	
12:20	P	PTWC ラン制限時間	大会会場	
12:30	全	交通規制解除	大会会場	
12:40	A・R	ラン制限時間	大会会場	
13:00	全	競技終了／表彰式	大会会場	
13:00	全	駐車場オープン	ぜんぼうグリーンパーク	
13:00	全	トランジションオープン	善防中グラウンド	
14:30	全	トランジションクローズ	善防中グラウンド	

全：全カテゴリ A・R：エイジ・リレー P：パラ

大会日程で決められた時間を厳守してください。遅刻した場合、競技に参加できなくなります。また、やむを得ずスケジュールを変更する場合があります。その場合は、大会本部より公式掲示板及び放送で告知しますのでお見逃しの無いようお願いいたします。

※エイジ・リレー選手の各パート制限時間はローリングスタートのため、最初にスタートした選手を基準に記載しています

【駐車場】

- 1) エイジ、リレーの選手はグリーンパーク駐車場をご利用ください。

【駐車中もダッシュボードに駐車券掲示必須】

- 2) 大会関係者用駐車場はスタッフ専用です。選手は駐車しないでください
- 3) 大会指定の駐車場以外に絶対に駐車しないでください。近隣住民への迷惑は大会開催に影響を及ぼすため、来年以降の出場をお断りします。
- 4) 家族・応援者も大会実行委員会が借上げている応援者用駐車場以外の場所に駐車しないでください。
- 5) 臨時シャトルバスを運行している応援者駐車場情報は『[交通規制・駐車場のお知らせ](#)』に掲載しています。（大会ホームページ参照）



6)

【受付】

会場MAP



☆受付ではすぐにQRチェックインのQRコードをすぐ読み取れるようスマホの準備をしてください。

- 1) 受付でQRチェックインのQRコードを提示
 - 2) 顔写真つき身分証明を提示
 - 3) 健康チェックシート（異常なし）を提出
- 1)～3)を済ませてリストバンドを装着します。



- 裸足で走る環境があるため、**安全ピンは使用禁止**です。レースナンバーベルトをご利用ください

- 駐車場から受付までの動線は一方通行です。バイクを押した選手がやってきますので、駐車場に戻る際は、逆走せず、南側の県道沿いの歩道から選手駐車場に戻ってください。

- 受付横で自分のレースナンバーのアンクルバンドを受取り、自分のレースナンバーとアンクルバンドが同じか確認し、足首に装着後はフィニッシュするまで外さないでください。

- 体調不良でスタートしない場合、アンクルバンドは受け取らず、受付にお知らせください。 スイムスキップも受付で申告ください。

- 着替えなど競技に関係のないものは善防公民館1階多目的ホール（体育館）に置くことができます。トランジションでバイクをセット後、ウェットスーツと一緒に持って公民館へ移動してください。

- 更衣室は公民館2階に男女別に設けてあります。

- 晴天時のレース中・後には熱中症のリスクがありますが、雨で濡れた後に風が出てくると低体温症のリスクもあります。タオル、フリース、薄手のダウンジャケット等含む着替えを各自ご準備ください

- フィニッシュした選手は（リタイアした選手も）、競技コースに再び立ち入ることはできません。**すべての競技終了までコース上にある駐車場には戻れません**。着替えを取りに戻ることはできませんので着替えなどフィニッシュ後に必要になるものは公民館多目的ホールにお持ち込みください。公民館敷地内及び芝生広場にはご家族や応援者も入ることができます



もっと先へ、その先のスタートラインへ
GREEN PARK TRIATHLON
グリーンパークトライアスロン in 飯塚

【スイムコース】



【スイムコース距離・周回数】

エイジ 1.5km (0.75km×2周回)

10人ずつ、**10秒間隔**のローリングスタートです

パラ (PTS/PTVI/PTWC) 0.75km×1周回

一斉スタートです。

【試泳・ウォーミングアップ】

7:50~8:10

試泳希望者のみ



スタッフのチェックを受け、橋を渡り試泳退水口から上陸し、スタッフのチェックを再び受け、スイム招集エリアに戻る。橋手前にエイド設置。長時間泳ぐ予定の方ほど試泳前、スイム前に水分補給を！

スイム招集時間内に招集エリアに戻ってください。



もっと先へ、その先のスタートラインへ
GREEN PARK TRIATHLON
グリーンパークトライアスロン in 京都

【スイム招集】8:10~8:20 準備体操 8:20~

キャップごと2列に並んで待機してください。スタッフの指示に従って順に橋を渡ってスタート地点に移動します。

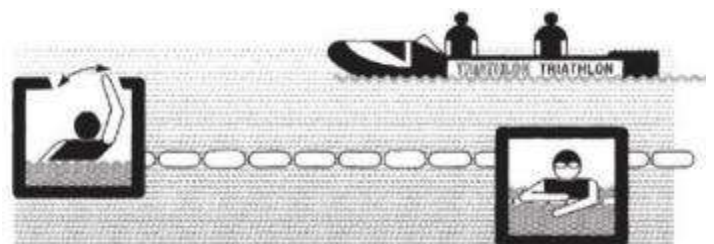
順番：

1 白、2 青、3 赤、4 黄、5 緑、6 橙、7 ピンク

スタート前最も近いトイレは上記の屋外トイレです。混み合いますので、会場各所にあるトイレで早めに済ませてください。



- ・スイム退水後からトランジションまではカーペットを敷いています。裸足で移動します。
- ・競技の公平性を維持するため、履き物を利用してトランジションに戻る選手は素足に戻ってから競技の再開をしていただきます。その時の履物はトランジションまで持って行ってください。スロープの草むらなどに放置しないでください。
- ・参加選手は、大会支給のスイムキャップを着用してください。
- ・ウエットスーツの着用を推奨します。大会本部公式掲示板に水温を掲示しています。池(淡水)は海水より浮力が小さいです。
- ・スタートエリアへの移動は、スイムキャップ色ごとに誘導します。
- ・スタート位置は、島の東側です。ローリングスタートで計測マットの通過タイム制限時間を管理します。
- ・審判員及びライフセーバーは安全上、競技続行が出来ないと判断した場合は、制限時間内であってもリタイア宣告します。(DNF)
- ・1周回を最終選手のスタートから25分以上(パラは30分以上)かかっている選手および、最終選手のスタートから50分後に水中にいる選手は、競技を中止していただきます。これはチップ計測による制限時間とは別の安全上の措置です。審判員・ライフセーバーの指示に従ってください。
- ・**スイムの制限時間(関門)はスイムアップポイントのタイムです。**
- ・スイム競技を行わないでバイクから競技を行う『スイムスキップ』ができます。受付時に大会本部に申告してください。ただし、スキップは完走にはならず、参考記録となります。
- ・スキップした選手は、審判に説明を受けたあと、トランジション入口付近のリレーゾーンでお待ちください。審判員がバイクスタートのタイミングを指示します。
- ・ゴーグル、ノーズクリップ、耳栓、腕時計、心拍計測器の使用は認めますが、その他のあらゆる用具の使用を禁止します。
- ・「レスチューブ」の使用を認めます。ただし膨張させた場合はリタイア扱いとなります。
- ・競技中、ブイやコースロープにつかまり、休むことは認めますがロープを使って進むことは禁止します。
- ・ライフセーバーのボードと監視ボートにつかまり休むことはスイム監視の業務を阻害することになりますので禁止します。つかまる場合はリタイアの意思表示とみなします。
- ・競技中、様子のおかしい選手がいた場合、レスキューを呼んで知らせてください。
- ・スイム競技を途中棄権する場合、片手をあげてスタッフに「リタイア」の意思表示をしてください。(図参照)
- ・**※余裕がなく溺れそうな場合は手を上げず、声も出さずに背浮き状態で呼吸を確保して救助を待つ。**
- ・救助された選手は、原則として競技を再開することはできません。



もっと先へ、その先のスタートラインへ
GREEN PARK TRIATHLON
グリーンパークトライアスロン in 旗本

【パラスイムコース】

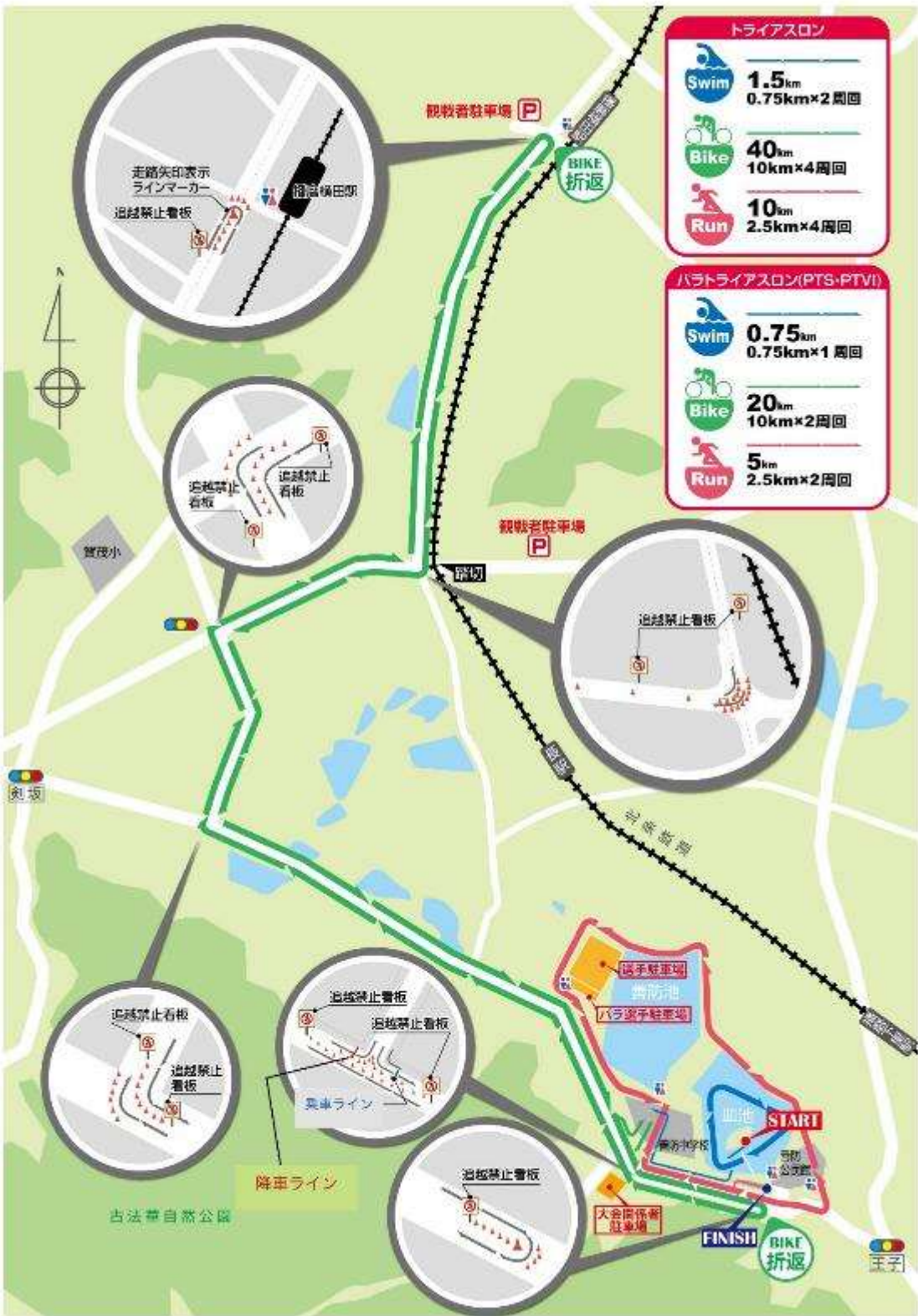


スイムスタート→ 皿池1周回 時計回り → 噴水の手前を右に浮島へ → スィムアップ → プレトランジション
→ 眼鏡橋を通る → トランジションへ



もっと先へ、その先のスタートラインへ
GREEN PARK TRIATHLON
グリーンパークトライアスロン in 京都

【バイクコース、ランコース】



【バイクコース距離・周回数】

エイジ 40.0km(4周回)

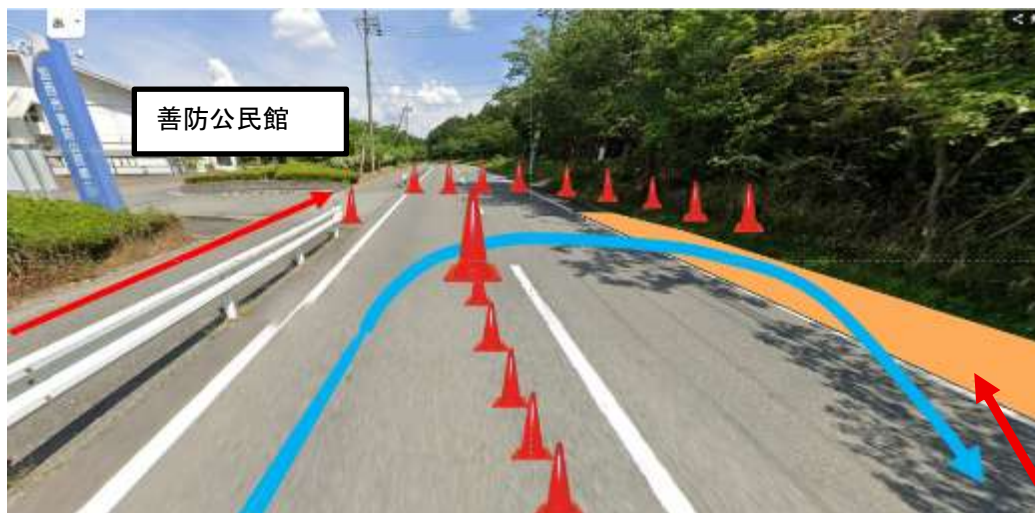
パラ(PTS/PTVI) 20km(2周回)

【ランコース距離・周回数】

エイジ 10km(4周回)

ハラ(PTS/PTVI) 5km(2周回)

180度転回 善防公民館 折返し



溝を覆って道幅を広げました
180度転回が苦手な選手は利用ください

180度転回 播磨横田駅折返し



善防中学校前
乗降車ラインの場所が変わります



もっと先へ、その先のスタートラインへ
GREEN PARK TRIATHLON
グリーンパークトライアスロン in 姫路

【レースナンバー・ボディナンバー】



- 1) ボディナンバーシールの貼り付け
 - ・ 貼り付け位置 左右の上腕部
 - ・ 貼り付け方法注意 一緒に渡す説明書をよく読んでください。
 - ① 水で濡らしてからはがします。
 - ② 完全に乾いてからはがしてください。
 - ・ 破損した場合等は、アンクルバンド（計測タグ）配布時にマジックで記入します。

2) 各種レースナンバーの付け方について

◆ バイクシール 左右両側面



◆ ヘルメットシール 正面



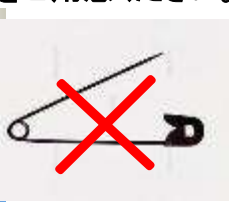
◆ レースナンバー



「バイクの時は後ろ」
「ランの時は前」から
見えるようにしてください。
前後につけても可。

◆ レースナンバー取り付け方法

レースナンバーベルトをご用意ください。



◆ 安全ピンは禁止

トランジションは中学校のグラウンドでもあり、素足で走るので怪我防止のため。またパンク防止のためレースナンバーベルトをご着用ください。

3) リストバンド・レースナンバーのルール等

- ① トランジションエリア内で、ウェアとレースナンバーを整えてからスタートしてください。
- ② ウェアやレースナンバーがめくれあがったまま競技することは禁止です。競技をとめ直させることがあります。
- ③ リストバンドは選手であることのIDとして使用します。フィニッシュ後も外さないでください。リレーのスイム担当も着替え後も着用してください。
- ④ トランジションエリアの出入りにも必要です。バイク撤収時には持ち出す荷物の照合を行いますので、バイクの引取りが終わるまで外さないでください。

【バイク競技】

＜1＞レースウェア

バイク、ランにおいて、上半身裸で競技すると失格となります。

前開き及び、前ファスナー付きウェアの使用は、許可します。WTルール改正により、ファスナーはみぞおち（胸骨）が見えない位置まで開けてよいものとしますが、フィニッシュ・シュートに入る前には必ずファスナーを閉じて下さい。ルール以上に開けて競技をしている場合は、注意の上、ペナルティの対象になる場合があります。

＜2＞用具等

① ヘルメット

- 1) 自転車競技用ヘルメットを着用してください。
- 2) レース中、コース試走、トレーニングなどでのバイク乗車時には、常にヘルメットを着用しなければなりません。

② バイク

- 1) ロードレーサー（ドロップハンドル型で高速走行性能優先させたバイク）を基本とします。クロスバイク・マウンテンバイクでは参加できません。

- 2) パラトライアスロンの方は別途対応します。
- 3) スタンド、前照灯、テールライト、泥除けなど競技に関係ないものは、取り外してください
- 4) ディスクホイールは使用できますが、強風による特性を理解した上でご使用ください。
- 5) 腕時計、心拍計測器、サイクルメーター（GPS式を含む）の使用は認めます。
- 6) スマートフォン等の使用は禁止します。ただしサイクルコンピュータとして使用する場合はバイク専用アタッチで固定することで認めます。競技中に動画撮影や他者との交信があった場合は失格とします。
- 7) 競技中のBluetooth等のデバイス、イヤホン、ヘッドセットの使用は禁止します。

<3> 競技

交通規制がかかりますが、交通状況、安全確保等のため、選手に停止していただく場合もありますのでご了承ください。（時計は止まりません）

- 1) コースは全体的にフラットに見えますが、アップダウンのあるコースです。また、長い直線から直角コーナー等のあるコースですので、前をよく見て、コーナーでは十分に減速してください。
- 2) 逆走は禁止です。
- 3) 左側走行で競技してください（キープレフト）。追い越す時は声かけをして右側から行います。
- 4) パンク等した場合、自身で修理してください。路肩に避けるなど後続車に追突されないようにしてください。
- 5) 追越禁止区間での追越しは危険行為とみなし、失格とします。追越禁止区間手前から十分に減速して走行してください。

追い越し禁止区間

周回折り返し地点：善防公民館前 播磨横田駅手前

➡折り返し地点(2か所)手前20m・折り返し後5m

善防中学校合流箇所

➡合流点の前後20m

各コーナー(3ヶ所)

➡手前20m・コーナー後5m、降車ライン手前20m

『折返し地点ここから』と『折返し地点ここまで』の表示を設置しますのでご確認ください。

例



ドラフティング、ブロッキングは禁止です。



ドラフトゾーン：12m

追い越しは25秒以内

- ・ドラフトゾーンに入ることができるのは、トランジションエリア前後100m、急なターン地点など
- ・ブロッキング（後続を追い抜けなくする状態）行為は禁止
- ・オートバイは20m、車両は35mがドラフトゾーンです。
- ・追い越された選手は、25秒以内にドラフトゾーンから後退してください。



【ラン】

- 1) コースは 左側通行 反時計廻り（左廻り）10km（4周回）、パラPTS/PTVIは5km（2周回）、PTWCは別コースで5kmです。
- 2) 周回数は各自で確認してください。スタッフが周回数を教えることできません。
- 3) 追越しは前走者の右側から。無理な追い越しをしない。前走者に一声掛けると安心です。
- 4) 応援者による伴走はできません。

【エイドステーション（給水所）】

- 1) スイムスタート前、トランジション前（受付場所）、ランコース上に1か所、フィニッシュに設置。
- 2) バイクコースにはありません。ダブルボトル推奨。ゴミはゴミ箱に捨てるか、お持ち帰りください。
- 3) テーブルにおいた紙コップ・ペットボトルを、競技者が自分で取ってください。
- 4) 使用済み紙コップ・ペットボトルなどのごみをゴミ箱以外の場所で投棄するとペナルティの対象です。

コース上に回収箱を用意しますが入れ損なっても規定範囲内であればペナルティの対象にはなりません。

【シャワー】

ランコース上にシャワーを1か所、水かけ箇所1か所を設置します。

【ペナルティ】

- 1) 違反や危険が予想される行為があった場合は、注意を受けることがあります。
- 2) 注意に従わないと警告が出ます。また、停止等のペナルティを課します。
但し、ペナルティが課される前に必ずしも注意や警告が発せられるとは限りません。
- 3) スイムからバイク・ランにおいて、違反があったにも関わらず、違反場所での停止等のペナルティが果たされなかった場合、あらかじめランコース上に設置されたペナルティボードに、対象選手のレースナンバーを掲示します。対象者は自らボックスに入り、審判の指示に従い、ペナルティ秒数の間は何もしないでください。ストレッチや飛び跳ねていると再ペナルティをとります。（場所はコース図参照）

4) 失格に該当する主なもの

- 登録本人以外(替え玉)出場
- ヘルメット未着用あるいは不適合なヘルメットを着用してバイクに乗車した場合
- 追越禁止区間での無理な追い越し
- パンク修理において、人の助力を得ること。(審判の助力は除く)
- 審判、スタッフ、観衆への暴言
- ペナルティボードにレースナンバーが掲示されているのに、ボックスに入らずフィニッシュした場合
- 意図的に不正な手段によって、他の競技者よりも明らかなアドバンテージを得た場合

【フィニッシュ】

- 1) フィニッシュ直前で、本人確認のためサングラスを外し、レースナンバーカードが前方から確認できる姿勢でフィニッシュしてください。
- 2) 同伴フィニッシュを許可します。同伴待機スペースでお待ちください。ただし1選手につき家族・友人2~3名まで、横断幕やのぼりなどは禁止します。)

【フィニッシュ周辺図】

フィニッシュした選手はアンクルバンドを返却し、フィニッシャータオルを受け取ってください。

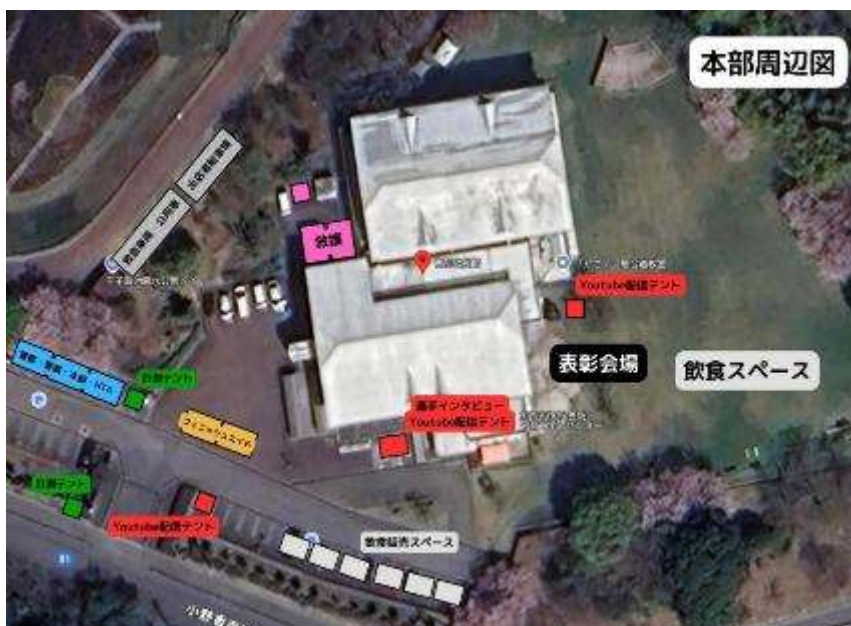
フィニッシュ後にエイドとシャワーを設置しています。

フィニッシュ時に食券として利用できる金券をお渡しします。リタイヤした選手は本部テントで受け取ってください。

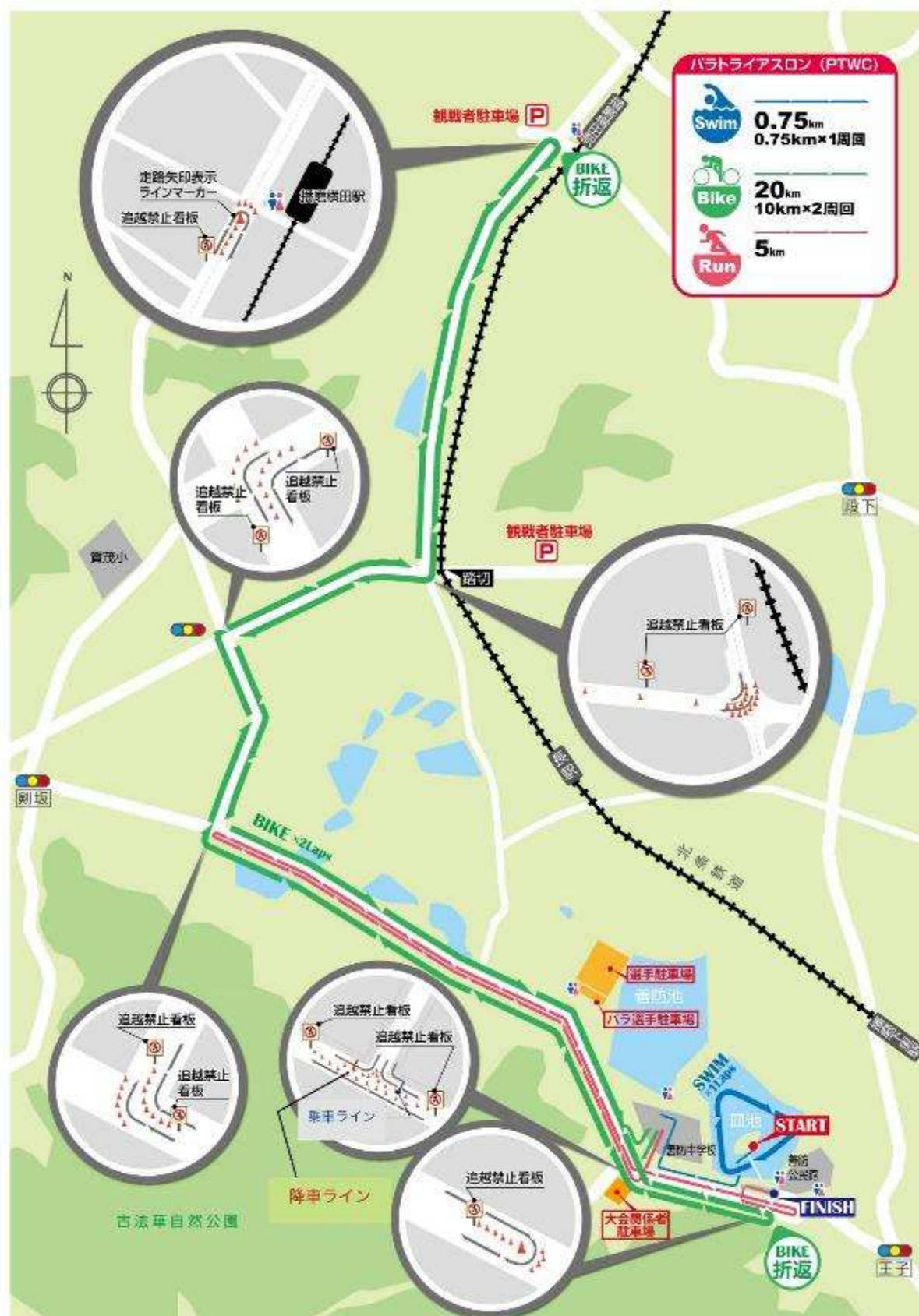
一度フィニッシュした選手は、すべての競技終了までコース上にある駐車場には戻れません。

善防公民館敷地内及び芝生広場にはご家族や応援者も立ち入りできます。

また、フィニッシュエリアの先に飲食店出店ブースがあります。財布などは貴重品預けをご活用いただき、飲食ブースをぜひご利用ください。



【PTWCコース】



【バイクコース距離・周回数】

パラ(PTWC) 20km(2周回)

【ランコース距離・周回数】

パラ(PTWC) 5km(周回なし)

【ランコース】



エイジ・パラ（PTS/PTVI）のランは歩道を走ります。PTWCランは車道を走ります。

パラPTWC 車いすラン



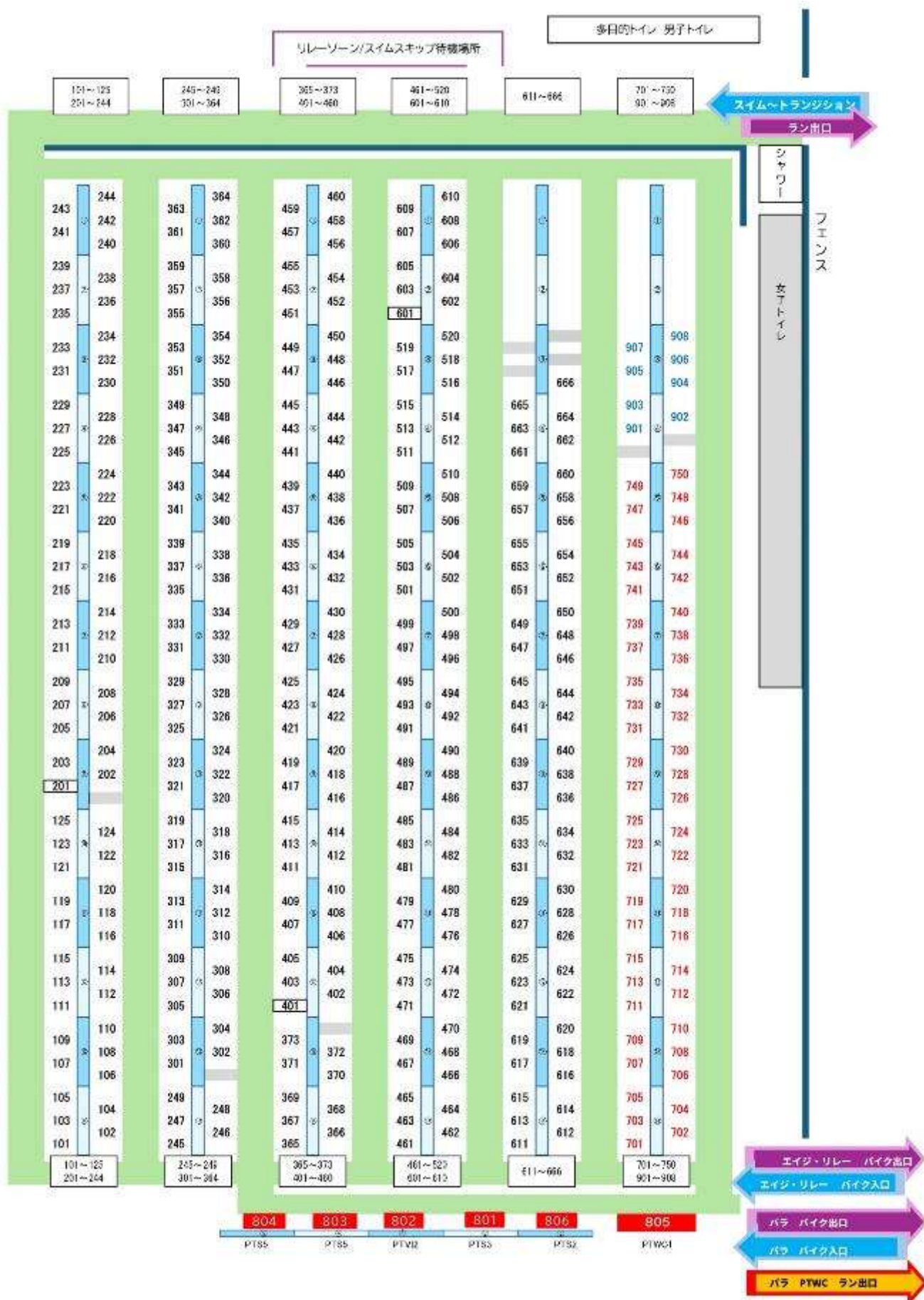
（車道 オレンジ色←）とエイジラン（歩道 赤色→）がランコース フィニッシュ分岐入り口で交差します。

パラPTWC(車いすラン)がフィニッシュに入る際はエイジ・パラ(PTS/PTVI)ランコースの歩道を横切ります。

その際、**パラ優先**になりますので、互いに妨害しないようお願いいたします。スタッフから指示があれば選手は従ってください。

前ページPTWCコース図の赤ラインも参考にご覧ください。

【トランジションエリア周辺詳細図】



パラPTWCでの車いすランはバイクコースの一部を使用してラン競技するため、バイク出入口を使います。

【トランジション】

- バイクラックに表示してあるナンバーシールが読める位置に立って、手前がハンドルになるように向けて、サドルをかけてください。
- ナンバーシールを中央にして幅55cmが当該選手のスペースです。
- バイクは黄色矢印の方向に出します。戻ってきた時はハンドル手前でかけます
- 各自のスペース内の地面に置くことができるものは、バイク競技の前後にかかわらず
 - ・バイクシューズおよびランシューズ各1足、
 - ・ヘルメット
 - ・支給品のトランジション袋
 - ・ウェットスーツ用袋
 それ以外の用具、ウェットスーツ、ゴーグル、キャップ、タオルなどは全て支給のトランジション袋かウェットスーツ用袋に収納してください。
 ただし、次の場合はトランジション袋に収納しない事も認めます。
 - ・シューズの中に押込んだソックス・キャップ・サングラスなど
 - ・ヘルメット内にはみ出さない様に入れたサングラスなどの小物。
 - ・バイクに掛けたレースナンバーが付いたベルト
- ペットボトルは、バイクから落下する可能性があるため使用禁止です。
トランジションで発見した場合、審判員が通告することなく回収します。
- ラン用に準備したペットボトルなどのドリンクは大会支給のトラバックに収納してください。
- トランジションエリア内で見える状態であるペットボトルは審判員が危険防止のため回収します。
- スイム終了後のウェットスーツはナンバーシールを貼り付けた大会支給品のウェットスーツ用収納袋(透明)に入れてください。
- ヘルメットは、ストラップを外した状態で地面またはバイクハンドル上に置いてください。
- ヘルメットは、被ってストラップを締めてからバイクをバイクラックから外すこと。
- バイクフィニッシュ後は、バイクをバイクラックに掛けてから、ヘルメットを脱ぐこと。
- トランジションエリア～乗車・降車ラインまでの間は、バイク乗車禁止です。手で押して行ってください。
- バイク乗車ライン(青のカーペット)を越えた後に完全に片足が地面についてから乗車してください。
- また、乗車ラインを通過してからも押すことはでき、ライン通過直後に乗車しなくてもかまいません。
- バイク降車ライン(赤のカーペット)手前の地面に片足が完全にについてから降車し、バイクラックまで手で押してください。★トランジションの方法を動画でご覧いただけます。(7分33秒)



キャップがシューズに入っていない



<https://www.youtube.com/watch?v=8ZcTY2ctNso>



【競技終了後の選手のトランジションエリアへの立ち入り】

- トランジションのオープン時間、クローズ時間を厳守してください。
- 競技終了後のバイク・荷物の引取り、持ち出し時はレースナンバー・リストバンドを必ず持参して、指定の時間内に行ってください。混雑緩和のため人数制限をしながら行いますのでスタッフの指示に従ってください。
- トランジションの出入りの際はリストバンドを必ず提示してください。



・救護で運ばれ引取りができない選手の家族・友人による代理の機材の引取りは大会本部にご相談ください。

【試走】

- 1) バイク、ランについて、大会当日以外でも試走はできますが、各自の責任において試走してください。
- 2) コース以外を走行する際は地元の方の迷惑にならないよう、スピードを落とし、騒音に注意してください。
- 3) 大会当日以外での怪我等については、保険の適用はできませんのでご了承ください。
- 4) バイク乗車時は、必ずヘルメットをかぶってください。

【リタイア】

- 1) リタイアする場合は、近くの審判員(審判員オフィシャルウェア着用)まで「リタイア」する旨と「レースナンバー」届け出て、アンクルバンドを返却してください。アンクルバンドを持ったまま競技コース内の通行や、計測テント付近に近寄らないでください。
- 2) リタイアした選手は必ず、公民館及び芝生広場に戻ってください。ただし、リタイア後はコースに立ち入れません。またトランジションへの入場が制限される場合もあります。競技全体が完全に終了するまで会場から出られません。



【リザルト、完走証】

- 1) リザルトはホームページ、SNSでご確認ください。
- 2) 完走証は、後日ホームページから無料でダウンロードできます。(当日配布はありません。)

【競技内容の変更・中止、及び中断】

- 1) 気象状況などにより、大会開催が危険と判断される場合は、大会当日5:30に、スイム会場にてコース・距離などの変更、または中止を発表します。(状況により遅れる場合があります。)
- 2) 雷などで危険な状況が発生した場合は、レースを中断して避難場所に避難してください。その後、再スタートや中止の判断を決定します。 緊急避難場所：善防公民館、善防中学校駐輪場、播磨横田駅駐輪場
- 3) 天候の急変などで、レース中に中断や中止の判断をした場合は、審判団、主催者で協議の上、表彰対象の有無などを決定いたします。
- 4) 天候により中止になった場合でも、参加費の返金はいたしません。

【緊急時の対応】

- 1) 緊急時、救急車が入る場合は、競技中でも一時競技を止め、救急車を優先して通行させます。選手が止まっている時間も競技時間に含まれます。事態をご理解のうえ、ご了承ください。
- 2) 大会開催中、変調をきたした選手を見かけた場合は、すぐにお近くのスタッフにお知らせください。

【メカニックサービス】

- 1) 大会当日バイクショップによるメカニックサービスを実施します。修理費用は実費になります。事前に十分に整備されたバイクでご出場ください。※会場のメカニックサービスは、整備不良のバイクを直すところではありません。

【荷物預託】

公民館多目的ホールで荷物を置いておけますが、大型の荷物等がないようご協力ください。貴重品は公民館1F受付でお預かりします。貴重品の受け渡しはリストバンドで管理します。

すべての競技終了までコース上にある駐車場には戻れません。飲食ブースもありますので、貴重品預けを積極的に活用ください。

【表彰】

表彰は芝生広場で行います。表彰対象者はアナウンスいたします。

【その他】

- 1) 「夏」の気候として準備をしてください。前日から十分な水分補給をしてください。飲酒は水分補給どころか脱水につながります。前日の飲酒はお控えください。
- 2) 雨、風など、天候によっては寒い場合も考えられます。寒さ、雨対策も考慮してご参加ください。
- 3) ※1),2)については、応援の方もご注意ください。
- 4) ラン競技中の帽子の着用を推奨します。
- 5) 大会開催中、変調をきたした選手を見かけた場合は、すぐにお近くの審判・スタッフに声をかけてください。
- 6) 体調不良、睡眠不足などは、大きな事故につながります。絶対に無理な出場はしないでください。
- 7) スケジュール、ローカルルールの変更などがあった場合は、本部に掲示の上アナウンスします。
- 8) ゴミは各自お持ち帰りください。
- 9) 貴重品は預けるなど各自で管理をお願いします。
- 10) 更衣室は公民館2階に用意します。
- 11) フィニッシュ後、アンクルバンドの返却を忘れていた場合は、大会本部まで必ずご返却ください。紛失した場合、実費を請求させていただきます。
- 12) 大会参加者が競技中※1に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体に被った傷害(いわゆるケガ)、細菌性食中毒等の疾病に対する保険に加入しております。
- 13) 大会中の自転車や機材の破損・紛失・盗難等についての補償は行いません。
- 14) テレビ、新聞等の取材が入り、場所を確保する場合があります。ご協力をお願いします。



【パラトライアスリートの参加】

本大会は西日本でパラトライアスロンの全カテゴリーの受け入れをしている唯一の大会です。障がいをお持ちの方が複数出場されます。違う機材を使ったり、走行路線が違ったりもあります。また、パラトライアスロンのルールを適用します。

ご理解、ご協力、ご注意をお願いします。

- スイムフィニッシュで、アシスタントが入る選手がいます。
- 視覚障がい選手が、タンデムバイク(2人乗り)で出場します。

❖ 通常のバイクと違う動きがあります。(写真上段)

- 両下肢に障がいのある選手は、バイクパートはハンドサイクルで走行します。
- 通常のバイクからの視角に入りにくい場合があります。(写真中段)
- ランパートでは、競技用車いす(レーサー)で出場する選手がいます。(写真下段)
- 麻痺などで体の片側の動作だけでバイクをコントロールする選手がいます。

❖ 低速になるとふらつくことがあります。

- **パラ選手は赤いレースナンバーをつけています。**
- ガイド(伴走など)が付く選手もいます。



パラ選手



ガイド(伴走など)

【リレー特有のルール】

3種目をチームとして届け出た2～3名の選手で分担して競技します。

スタートリストに届けた選手以外の選手が競技することはできません。

出場できない選手がいた場合、他の種目の選手が代わりに競技することはできますが、参考記録になります。

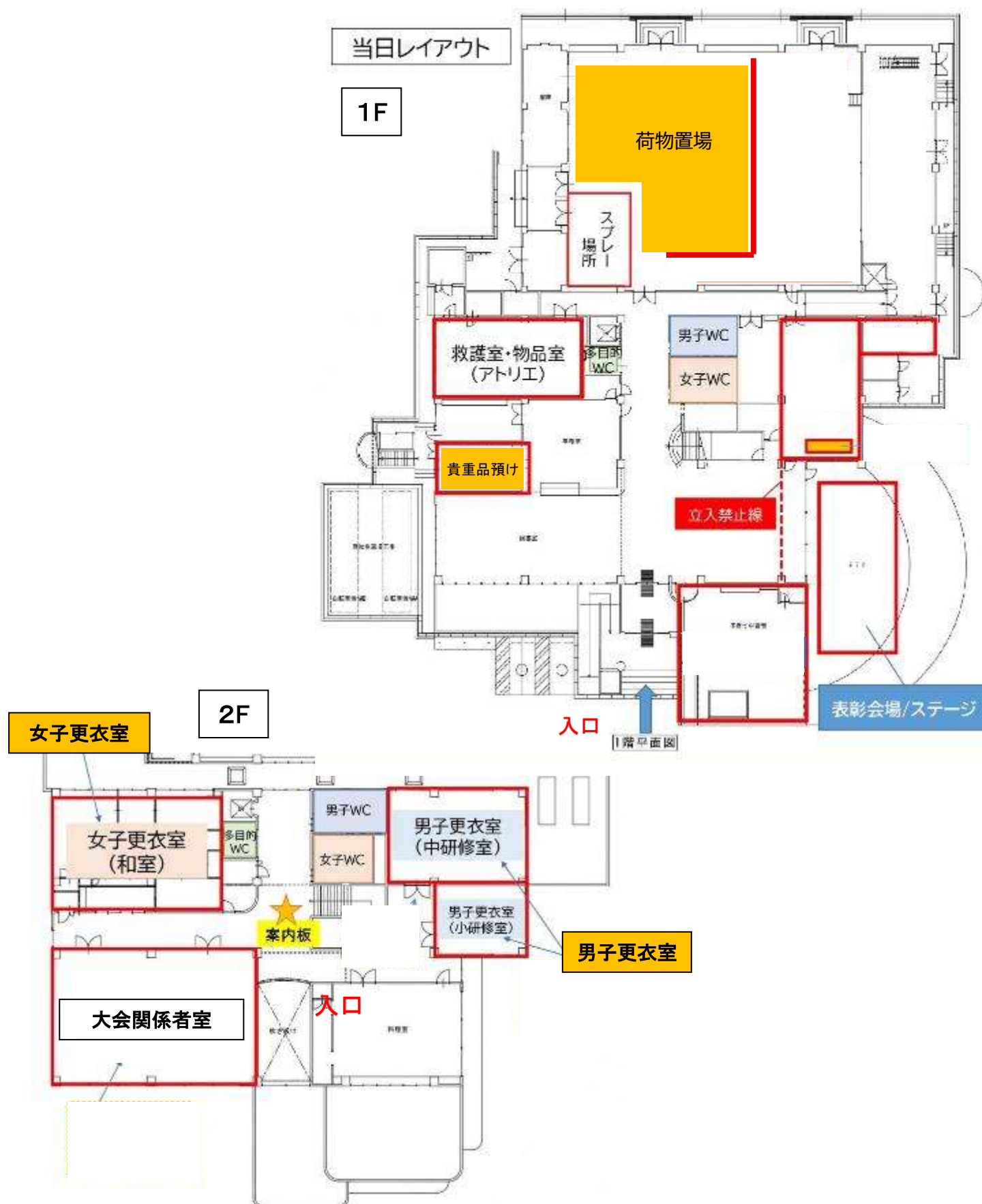
その際も他チーム間で選手を変更することはできません。

- 競技選手の交替はトランジション北側の『リレーゾーン』内で行います。
- スイム選手は『リレーゾーン』に入ってからアンクルバンドを外し、バイクの選手に渡してください。受け取った選手は足首に装着してからバイクラックに向かいます。
- バイクシューズ・ヘルメット・サングラス・グローブ等はトランジション内に置くこと。あらかじめ装着することはできません。(エイジ選手がトランジションに入る前の状態と同じと考えてください)
バイク競技を終えた選手はラックにバイクをかけ、ヘルメットを脱いだ後、リレーゾーンに向かいます。バイク選手は『リレーゾーン』に入ってからアンクルバンドを外し、ラン担当選手に渡してください。受け取ったラン担当選手は足首に装着してからランコースに向かいます。バイク選手はバイクシューズを履いたままトランジションを出ることはできません。サンダル、普通のシューズの使用は認めます。
- ラン担当選手のランシューズ・キャップ・サングラス等の走る準備は許可します。(エイジ選手がトランジションから出た状態と同じと考えてください)
- 交替を終えた選手はスタッフがフィニッシュエリアへ誘導します。レース中のコースを通るため、数名まとまってからの移動になります。
- バイク担当が交替後トランジションに戻ることはできません。(レースコースの逆走です)
- リレーゾーン付近で待機中も熱中症に気を付けて、水分補給等してください。リレーゾーン横にゴミ袋を用意します



もっと先へ、その先のスタートラインへ
GREEN PARK TRIATHLON
グリーンパークトライアスロンin 京都

【善防公民館内 案内図】



もっと先へ、その先のスタートラインへ
GREEN PARK TRIATHLON
 グリーンパークトライアスロン 協賛

競技規則（ローカルルール）

「トライアスロンジャパン競技規則改訂（2026年度版）」を基本とし、大会ローカルルールを制定して実施します。ルールを理解して競技に参加して下さい。競技規則に違反した場合は、指導、タイムペナルティ又は失格の対象になります。

・ [トライアスロンジャパン競技規則改訂（2026年度版）](https://www.jtu.or.jp/news/2026/02/20/80924/)

<https://www.jtu.or.jp/news/2026/02/20/80924/>



競技全般

- ☐ スポーツマンシップを守り、マナー良く競技に参加してください。
危険行為・他競技者への妨害・大会スタッフへの暴言等は、失格の対象になります。
- ☐ 参加されるすべての選手はアスリートガイドを熟読し、リレーは全員、パラトライアスロンでは、ガイドも受講し、ローカルルール、タイムペナルティの適用など重要事項を理解して競技に参加してください。
競技規則（ローカルルール）に変更が生じた場合は、この競技説明会での説明の内容が最終となります。
- ☐ アスリートガイドを理解の後、ウェブテストに合格しなかった選手は出場できません。
- ☐ 大会実行委員会は、当日の気象条件等で競技内容を変更、一部あるいは全部を中止することがあります。
- ☐ 大会日程で決められた時間を厳守してください。遅刻した場合競技に参加できなくなります。また、やむを得ずスケジュールを変更する場合があります。その場合は、大会本部より公式掲示板及び放送で告知しますのでお見逃しの無いようお願いいたします。
- ☐ ペナルティの適用は、大会本部の公式掲示板で告知します。
ペナルティは、違反が認められた時に審判員からイエローカード、ホイッスルなどを用いてその選手に通告します。
ただし、これが行われることを必須条件とはしません。
- ☐ 原則としてタイムペナルティの対象者には、ランコース上のペナルティボックスでタイムペナルティを科します。
ペナルティボックスにペナルティボードを設置し告知します。自らペナルティボードを確認してボックスに入り審判員の指示に従ってください。入らずフィニッシュした場合、失格になります。（DSQ）
※ペナルティボックス担当審判がレースナンバーを読み取って選手に声をかけることはできません。
- ☐ 計測はアンクルバンドで行います。アンクルバンドは大会当日選手受付で配布、フィニッシュ地点で回収します。
- ☐ 競技途中でリタイアする場合は、審判員（審判員オフィシャルウェア着用）まで届け出てアンクルバンドを返却してください。アンクルバンドを持ったまま競技コース内の通行や、計測 TENT 付近に近寄らない様にご注意ください。
リタイアした選手は公民館及び芝生広場に戻ってください。ただし、リタイア後も競技全体が完全に終了するまで会場から出られません。
- ☐ レースナンバーカードの取り付けは裸足で走る環境があるため、安全ピンの使用は禁止です。
- ☐ レースナンバーベルトの使用を推奨します。ウェアに取り付ける場合、四隅をしっかりと留めて下さい。
バイク競技時には後/背側、ラン競技時には前/胸側から容易に確認できる様に使用してください。
レースナンバーカードの変造、折り込みはペナルティの対象となります。
競技中にレースナンバーをつけていない、またはがれている場合や、めくれ上がっている場合、前後逆な場合は、その場で静止させ正しく直す指示をする場合があります。
- ☐ スマートホン等の使用は禁止します。ただしサイクルコンピュータとして使用する場合はバイク専用アタッチで固定することで認めます。競技中に動画撮影や他者との交信があった場合は失格とします。（DSQ）
- ☐ 競技中のBluetooth等のデバイス、イヤホン、ヘッドセットの使用は禁止します
- ☐ 腕時計、心拍計測器、サイクルメーター（GPS 式を含む）の使用は認めます。
- ☐ 前開き及び前ファスナー付きウェアの使用は、使用可能ですが、フィニッシュ 200m 手前から必ずファスナーを閉じてフィニッシュして下さい。



もっと先へ、その先のスタートラインへ
GREEN PARK TRIATHLON
グリーンパークトライアスロン 旗巻

- 各種目の制限時間をこえて競技を続行する事はできません。
- 選手以外はスイム招集エリア、トランジション及びコース内に入ることができません。選手の保護者、付添いの方については沿道からの応援をお願いします。

スイム競技

- 参加選手は、大会支給のスイムキャップを着用してください。
- ウェットスーツの着用を推奨します。大会本部公式掲示板に水温を掲示しています。
- 試泳は指定の時間にスタート地点から入水して退水口までの間で退水口からあがります。
- スタートエリアへの移動は、スイムキャップ色ごとに誘導します。
- スタート位置は、島の東側から入水し、ローリングスタートです。
トライアスロンは、2 周回、パラトライアスロン、1 周回で、時計(右)回りです。
周回は、橋の下を通過してそのまま 2 周回します。
- 競技中、周回数などの質問にはお答えできません。
- 審判員及びライフセーバーは安全上、競技続行が出来ないと判断した場合は、制限時間内であってもリタイア宣告します。(DNF)
1 周回を最終選手のスタートから 25 分以上(パラは 30 分以上)かかっている選手および、最終選手のスタートから 50 分後に水中にいる選手は、競技を中止していただきます。これはチップ計測による制限時間とは別の安全上の措置です。審判員・ライフセーバーの指示に従ってください。
- スイム競技を行わないでバイクから競技を行うスイムスキップができます。受付時に大会本部に申告してください。ただし、スキップは完走にはならず、参考記録となります。
- ゴーグル、ノーズクリップ、耳栓、腕時計、心拍計測器の使用は認めますが、その他のあらゆる用具の使用を禁止します。
- 「レスチューブ」の使用を認めます。ただし膨張させた場合はリタイア扱いとなります(DNF)。
- 競技中、ブイやコースロープにつかまり、休むことは認めますがロープを使って進むことは禁止します。また、ライフセーバーのボードとチューブ及び監視ボートにつかまるとはリタイアの意思表示とします。

バイク競技

- バイクコースは、両月町～北条鉄道播磨横田駅を折り返す周回コースを、トライアスロンは 4 周回、パラトライアスロンは 2 周回した後、フィニッシュへ向かうコースです。
- 折り返し地点手前と、バイク降車ライン手前及び各交差点は追越し禁止区間です。充分減速してください。
- バイクコースは、左側を走行してください。(キープレフト)
- 追越しは、後方に注意して、声をかけてから右側から速やかに追越ししてください。
- ドラフティング走行は禁止します。2 回目のドラフティング違反で失格になります(DSQ)
- 周回数の質問には、お答えできません。
- ペットボトルは、バイクから落下する可能性があるので使用禁止です。トランジションで発見した場合、審判員が通告することなく回収します。

ラン競技

- ランコースは、善防中学校、善防公民館を含めた皿池・善防池の周囲を走ります。
- 反時計廻り(左廻り)で左側通行してください。
- フィニッシュへの最終の周回は、公民館駐車場手前からフィニッシュゲートに向かいます。
- ランコースは一部にガードレール内の歩道を走行します。道幅が狭い箇所は無理な追い越しをしないようにしてください。
- フィニッシュでは本人確認のため、サングラスを外し、レースナンバーカードが前方から確認できる姿勢でフィニッシュゲートを通過してください。フロントファスナーの方はあげてください。

トランジションエリア

- バイクラックに各自のレースナンバーを表示した位置(ナンバー表示を中央にして幅 55 cm以内)がその選手のスペースです。
- バイクラックのレースナンバーが読める側から見て手前(通路側)にハンドルがくる様に、バイクラックにバイクのサドル部分を掛けて設置してください。
- 各自のスペース内の地面に置くことができるものは、バイクシューズおよびランシューズは各 1 足、ヘルメットおよび支給品のトランジション袋、ウェットスーツ用袋です。
それ以外の用具、ウェットスーツ、ゴーグル、キャップ、タオルなどは全て支給のトランジション袋かウェットスーツ用袋に収納してください。(使用後も収納すること) 収納違反はタイムペナルティとします。風で飛んでしまわないよう工夫してください。
- ただし、次の場合はトランジション袋に収納しない事も認めます。
 - ・シューズの中に押込んだソックスなど(はみ出しの少ないもの)
 - ・ヘルメット内にはみ出さない様に入れたサングラスなどの小物。
 - ・バイクに掛けたレースナンバーが付いたベルト
- トランジションの各自のスペースの地面に置く事が禁止される物の例
 - ・支給品以外のトランジション袋やビニール袋、カゴ、バックなど
 - ・トラバグ、支給収納袋、その他認められたもの以外が置かれている場合は、危険防止のため審判員の判断で撤去します。
- ヘルメットは、ストラップを外した状態で地面またはバイクハンドル上に置いてください。
- ヘルメットを被ってストラップを締めてからバイクをバイクラックから外すこと。
また、バイクフィニッシュ後は、バイクをバイクラックに掛けてから、ヘルメットを脱ぐこと。
- 2023 ワールドトライアスロンルールに則り、すべての選手は、自転車セグメントの開始前にラックから自転車を取り外す前にヘルメットをしっかりと固定し、自転車をラックに置いて(自転車の)フィニッシュ後に手放すまで、ヘルメットのロック機構に触れてはなりません。
- トランジションエリア内は、バイク乗車禁止です。乗車ラインまで、手で押して行ってください。
- バイク乗車ライン(青のカーペット)を越えた後に完全に片足が地面についてから乗車してください。
- バイク降車ライン(赤のカーペット)手前の地面に片足が完全にについてから降車し、バイクラックまで手で押してください。
- スタート前の選手のトランジションエリアへの立ち入りは、レースナンバーまたはリストバンドを着用しスタッフの指示に従ってください。
- 競技を終了した選手のトランジションエリアへの立ち入りは、指定の時間内に人数制限をしながら行いますのでスタッフの指示に従ってください。



- 競技終了後のバイク・荷物の引取り、持ち出し時はリストバンドで本人確認を行います。リストバンドは競技終了後、トランジションのバイクを引き取るまで外さないでください。スタッフの指示に従って決められた時間内に行ってください。

その他

- 記録証(完走証)は、後日ウェブ(大会HP内のリンク)から入手、印刷できます。大会会場での配布はありません。
- 速報記録を大会会場の公式掲示板に掲示する予定です。都合により変更になる可能性があります。
- 公式記録表は、後日大会オフィシャルホームページ等に掲載します。
- 施設の利用は注意案内に従って行い、また、ゴミは各自でお持ち帰りください。
- 貴重品は、善防公民館事務室にて預ります。引き取りにはリストバンドが必要です。
- レースに関係ない荷物類は善防公民館1階多目的ホール(体育館)に置くことができます。預かりではありません。各自の管理になります。
- 大会当日バイクショップによるメカニックサービスを実施します。

用語について

(DNF) Do Not Finish リタイア(フィニッシュしなかった)の略語

(DSQ) disqualified(ディスクォリファイド)失格の略語

パラトライアスロンでの追加事項

- 障がいクラス分けは、自己申告により PTWC1・2、PTS2、PTS3、PTS4、PTS5、PTVI1・2 の 9 区分とします。
- ハンドラー等による支援は、規定に従い障がい程度に応じた支援が可能としますが、基本的にサポートは選手側でご用意して頂きます。その他のサポート希望等があればその内容を事前に大会事務局までご連絡ください。受入れ体制状況に応じて事務局が参加の可否を決定します。お問合せ時には、「パラトライアスロンの参加について」をご利用ください。

プレトランジション

- 入水・退水口付近にプレトランジションを設けます。
- プレトランジションからトランジション(善防中学校グラウンド)までは約 480m の距離があります。
- 希望する選手には、入・退水(SEA)の大会側ハンドラーによる支援と、義足、クラッチ等の装具置き場と、椅子を設置します。また、車椅子による移動を大会側ハンドラーが支援します。
その他 PTVI(視覚障がい)の選手には、椅子の設置と、希望によりランシューズの設置を許可します。

バイク競技

- PTWC のハンドサイクル、車椅子レーサーは、乗車ライン及び降車ラインの手前で一時停止をし、審判員の「Go」指示で再スタートして下さい。
- 全競技クラスでドラフティング走行は禁止します。PTWC の車椅子レーサーもドラフティング禁止です。

トランジションエリア

- ☐ PTWC 選手は、ハンドサイクル、車椅子レーサーおよび一般車椅子用のスペースと装具置き場を設置します。
- ☐ PTS2 – PTS5 の選手は、1 台分のバイクラックと、装具置き場、および椅子を設置します。
- ☐ PTVI 選手は、選手用とガイド用の 2 名分の個人スペースとタンデムバイク 1 台分のバイクラック、および椅子を設置します。

ラン競技

- ☐ PTWC 車椅子レーサー使用の選手は、ラン競技でもバイクコースを走行してください。
トランジションを出てから、校門(幹線)を右折してバイクコースを 2.5km 先の最初の右折地点(柏原建設付近)で折り返し、善防公民館駐車場で入り口で再び折り返し、特設の公民館駐車場入口を右折して、公民館駐車場内のフィニッシュゲートに向かってください。
- ☐ PTWC 車椅子レーサー使用の選手のフィニッシュは、規定では車椅子レーサーの前輪軸が通過した時となりますが、アンクルバンドで計測を行いますので、アンクルバンドが計測マットを通過した時刻がフィニッシュとして記録されます。フィニッシュライン上では停止をせず、通過してください。
- ☐ PTWC 車椅子レーサーも他の車両へのドラフティング禁止です。
- ☐ PTS2-PTS5 の選手は、障がいの内容により規定の義足、クラッチ等の装具、補助具を使用できます。
ランブレードも使用可能とします。

大会保険内容の適用について

保険内容

大会参加者が競技中^{※1}に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体に被った傷害(いわゆるケガ)、細菌性食中毒等の疾病が、保険金の支払いの対象となります。

※1 競技中とは、9 月 24 日(日)5 時から 17 時までの期間とします。

保険金をお支払できない事項

- ☐ 急性虚血性心疾患(心筋梗塞)、急性心不全等の心臓疾患、くも膜下出血、脳内出血等の急性虚血性脳疾患、低体温症などの疾病又は心神喪失によるケガ
(各自加入の生命保険にて対応してください)
- ☐ 故意又は重大な過失によるケガ
- ☐ 地震、噴火、津波によるケガ
- ☐ 自殺行為、犯罪行為又は闘争行為によるケガ
- ☐ 医学的他覚所見のないむちうち症又は腰痛
- ☐ 保険期間が始まる前に発病している疾病と因果関係がある場合
- ☐ 選手が使用するバイクの損害、その他選手が有する財産に対する損害
- ☐ 酒気を帯びた状態での運転または麻薬等により正常な運転ができないおそれがある状態での運転
- ☐ 妊娠、出産、早産または流産
- ☐ 戦争、外国の武力行使、暴動(テロ行為を除く)、核燃料物質等によるもの
- ☐ 外科的手術その他の医療措置

保険金額

- ☐ 死亡・後遺症傷害保険金額: 事故日から180日以内に死亡又は後遺障害が生じたときは最高 1,500万円を支払います。
- ☐ 入院保険金: 事故日を含めて 180 日以内の入院日数に対し、入院 1 日につき 5,000 円を支払います。ただし、180 日を限度。
- ☐ 通院保険金: 事故日を含めて 180 日以内の通院日数に対し、通院 1 日につき 2,500 円を支払います。ただし 90 日を限度。入院保険金をお支払いするべき期間中の通院に対しては通院保険金をお支払いしません。

重要注意事項

- ☐ 病院等で受診の場合、初診料を含め治療費は本人の自己負担となります。
- ☐ この保険は、治療にかかる実費とは無関係に、上記の保険金の定額で支払われます。また、軽度のケガであっても、必ず大会本部に事故の内容を報告してください。
- ☐ 大会当日に届け出がない場合、保険金請求ができませんので、ご注意ください。

保険金請求の方法

- ☐ 保険金は、ケガが治癒した後、保険会社所定の書類を添えて保険会社宛てに請求してください。

トライアスロンジャパンが加入する登録会員向けスポーツ安全保険

公益社団法人日本トライアスロン連合(JTU)では、2024年度から、全登録会員(選手・審判員・指導者・役員等)を対象に「トライアスロン安全保険」を自動付帯いたします。この保険は、トライアスロン・アクアスロン・デュアスロン大会などに参加中の事故に対して、年度を通じて適用されます。詳しくは以下を確認ください

<https://www.jtu.or.jp/join/insurance/safetysports/>



もっと先へ、その先のスタートラインへ
GREEN PARK TRIATHLON
グリーンパークトライアスロン in 加賀